

報道関係者各位

2019年8月6日



株式会社タウンキッチン
株式会社 JR 中央ラインモール
多摩信用金庫

地域に根ざした鉄道・金融・地元ベンチャー企業が連携体を組成 創業支援による郊外のまちづくりをスタート

株式会社タウンキッチン（小金井市）と、株式会社 JR 中央ラインモール（小金井市）および多摩信用金庫（立川市）は、2019年8月1日から最長3カ年に亘って、多摩地域を中心に、空き家・空き地を活かした郊外まちづくりに関する創業支援に取り組みます。

本取り組みは、東京都「インキュベーション HUB 推進プロジェクト事業」の採択を受けて行います。多摩地域において創業支援等を行う株式会社タウンキッチンが代表事業者を担い、JR 中央線の沿線価値向上を目指す株式会社 JR 中央ラインモール、地域密着型の金融機関である多摩信用金庫が連携事業者を担う形で、地域の活性化に取り組む3社が連携体を組成します。

駅と商業施設を一体的に運営しまちのにぎわいをつくる企業、資金・不動産といったまちの資産を扱う金融機関と、創業支援に取り組む企業が地域における“ハブ”の役割を果たしながら、さらに3社それぞれから広がるネットワークをあわせた体制を築くことにより、単一企業では実現し得ない地域を包括した創業支援が可能になります。起業家が地域の資源と課題を共有しながら、創業によるまちづくりが持続されていく将来像を見据えて取り組みます。

郊外は、働き方改革をはじめライフスタイルを見直す動きの中で、職住近接、テレワーク、店舗付き住宅等による新しい働き方と暮らし方を実現するフィールドとして、大きな注目を集めています。また、人口減少や高齢化などにより増え続けている団地を含めた空き家・空き地は、まちのにぎわいづくりや防犯など多くの面で課題を生んでいます。そのような状況を念頭に、本取り組みでは、起業家が郊外まちづくりの担い手となり、空き家問題の解決を図りつつ、地域の課題解決に取り組むことを支援します。

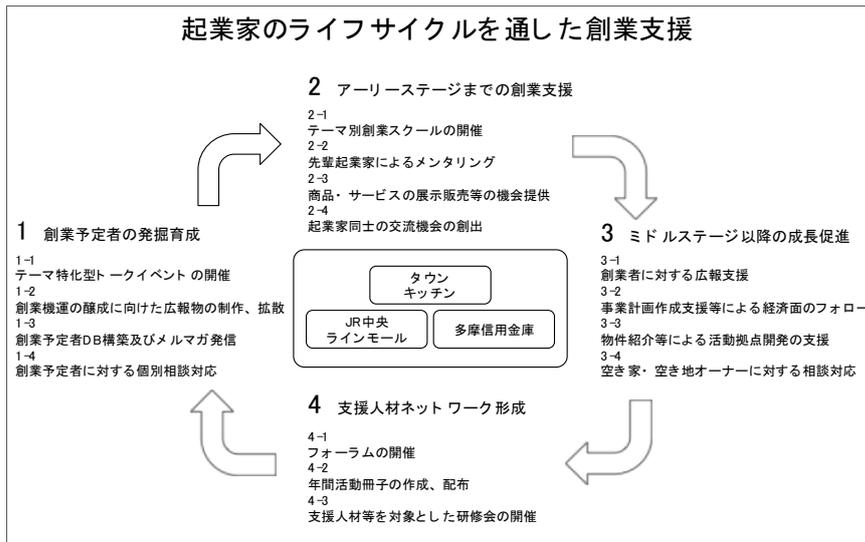
具体的な内容としては、JR 中央線東小金井駅の高架下にある創業支援施設を拠点に、介護や教育といった地域の課題に特化したトークイベントやスクールを開催するなど、創業に無関心だった層の掘り起こしと育成を行います。また、商品サービスの展示販売として空き家・空き地の試験的運用や、不動産オーナー向けの利活用相談窓口の設置などを行います。

※「インキュベーション HUB 推進プロジェクト事業」について

都が平成25年度より実施するもので、高い支援能力・ノウハウを有するインキュベータが連携体を構築し、創業予定者の発掘・支援から成長促進までの支援を一体的に行う取組を推進しています。都の制定する「2020年に向けた実行プラン」のうち、「スマートシティ 政策の柱4 国際金融・経済都市」に係る事業です。

<参考情報>

1. 実施内容の概要図



2. JR 中央線東小金井駅高架下の創業支援施設 「KO-TO」「PO-TO」「MA-TO」



- ・東小金井事業創造センターKO-TO（コート）
小金井市の公共施設として 2014 年に設置。株式会社タウンキッチンが指定管理者を務める。シェアオフィス、創業相談窓口等を設置。
- ・PO-TO（ポート）
株式会社タウンキッチンと株式会社 JR 中央ラインモールの協働により 2017 年に設置。店舗併設のシェアオフィス。
- ・MA-TO（マート）
株式会社タウンキッチンと株式会社 JR 中央ラインモールの協働により 2019 年に設置。食とものづくりのシェア施設。 ※左写真

3. 会社概要

・代表事業者

会社名 株式会社タウンキッチン
 所在地 東京都小金井市梶野町 1-2-36
 代表者 代表取締役 北池 智一郎
 事業内容 創業支援事業、シェアオフィス・シェアキッチン等の施設運営事業、不動産事業、メディア事業
 設立 2010 年 7 月

・連携事業者

会社名 株式会社 JR 中央ラインモール
 所在地 東京都小金井市本町 1-18-10
 代表者 代表取締役社長 石井 圭
 事業内容 商業施設等の企画・運営・開発、駅業務受託
 設立 2010 年 12 月

会社名 多摩信用金庫
 所在地 東京都立川市曙町 2-8-28
 代表者 理事長 八木 敏郎
 事業内容 信用金庫法に基づく金融業務全般（預金業務、貸出業務、内国・外国為替業務、代理業務、投資信託・保険商品の窓口販売業務、各種相談業務 ほか）
 設立 1933 年 12 月